

2022年度 事業報告

総務担当副会長：飯田 貞年

〔期間〕2021年9月1日～2022年8月31日

齋会再スタートから7年目の今年度は、コロナ禍3年目で感染拡大の波が周期的に繰り返される一年間でした。会員相互の親睦活動、青学古美研との交流と支援、古美術研究の啓発発展と、それぞれの目的に添って、役員をはじめとする会員の皆様のお知恵を借りながら、こうした状況下でも実施できる活動を行ってまいりました。以下のとおりご報告いたします。

1. 役員会・総会等の開催

- (1) 年間の事業計画(活動計画)や実施項目などは役員会において協議・決定しています。原則として年3回開催し、必要に応じて会長が臨時役員会を招集しています。今年度もコロナ禍の影響で5回開催のうち、2回がリモート開催となりました。なお議事録は齋会ホームページ(HP)に掲載しています。
- (2) 2021年9月23日に予定されていた大学同窓祭はコロナ禍によりオンライン開催となり、このため同日開催予定の齋会総会も青山キャンパスで行うことができず、前年に引き続き書面開催となりました。
議案は、①2021年度事業報告、②同年度収支決算報告ならびに監査報告、③役員改選で、いずれも原案通り承認されました。(議事録は齋会HPに掲載。)

＜会議開催日＞

① 役員会	(臨時)	2021年 9月 5日(日)	第1回	2021年 12月 5日(日)
		第2回	2022年 4月10日(日)	(臨時) 2022年 6月12日(日)
		第3回	2022年 8月 7日(日)	※下線はリモート開催
② 総会		2021年9月30日(木)	書面開催	※開催日は返信はがき締切日

2. 会員相互の親睦活動

- (1) 毎年同窓祭会場で行っている親睦イベントは前年に引き続き実施できませんでしたが、2019年11月以降実施できなかった古美術を語ろう会(古美術鑑賞や史跡散策などの親睦会)は、感染拡大の波の合間を縫って2年半ぶりに実施することができました。下記具体的取組みを参照願います。
- (2) 齋会HPを活用して新鮮な情報を会員に提供しています。またHPの情報を整理して会報誌「齋会からのお知らせ」を年1回発行し郵送しています。今年度は9月に発行しました。
- (3) 毎年、齋会公式活動以外のイベント(各世代の親睦活動、OBサロンなど)への開催支援をしていますが、今年度もコロナ禍の影響でそれらが中止となり支援に至りませんでした。

＜具体的取組み＞

- ① 古美術を語ろう会：2022年4月16日(土) 都心の残影～私たちの知らない時代の東京巡り 参加23名(当日の様子は齋会HPに掲載。)
- ② HPによる情報の発信：年間38回発信(ほぼ10日に1回)
- ③ メールニュース【齋会通信】の発信：年間30回発信(ほぼ12日に1回)
- ④ 会報誌「齋会からのお知らせVol.7」(4ページ)を発行・送付(9月下旬)
- ⑤ 会員名簿のメンテナンス(役員4名で読合せ確認作業を3月22日(火)に実施)

3. 青学古美研との交流と支援活動

- (1) コロナ禍3年目となる今年度は、大学の対面授業が前年より拡大されるなど現役生の活動に多少の好転があったものの、依然正常なクラブ活動が行えない状況が続いていました。このため毎年行っている交流活動(青山祭、追出しコンパ等への参加など)は実施できませんでした。
- (2) 古美研役員/齋会役員の意見交換会は10月17日(日)にリモートにより、6月7日(火)に対面により実施しました。大学生活が制限される中、オンラインでの入会募集、展覧会見学など工夫をしながらクラブ活動を継続している様子が伺えました。詳細はHPに掲載しています。
- (3) 現役活動支援金は、活動の現状・現役役員の意向を踏まえ、今年度は支出しませんでした。

4. 古美術研究の啓発活動

- (1) 贅会初の試みとして「文化財保護」を目的とした寄付活動を行いました。国宝十一面観音をお祀りする聖林寺の新観音堂建立事業に際しまして、贅会より10万円を寄進させていただきました。(2021年11月、詳細はHPに掲載。)
- (2) 毎年、啓発活動の場として同窓祭を活用し講演会や展示会などを開催していますが、今年度はオンライン開催となったため参加を見送りました。また当初、同窓祭の通常開催を期して講演会を計画し、鎌倉在住の仏像修復師の方に講師をお引受けいただきましたが、残念ながら実施できませんでした。来年以降の実現を目指します。
- (3) 2(1)で記載した「古美術を語ろう会」には青学卒業生はじめ会員以外の参加も可能とし、ともに一日の行程を過ごすことで古美術鑑賞の楽しさなどの語らいの場としています。2022年4月開催の同会には非会員の方4名が参加しました。
- (4) 贅会活動を積極的にアピールする場として校友会会報誌「あなたと青山学院」を活用していますが、今年度は発行された3号すべてに記事を掲載しました。
- (5) 校友会HP内にある贅会ページでの情報発信を通じて贅会の活動を積極的に紹介しました。また、7月29日(金)に開催された「校友会アイビーグループ代表者会議」において贅会の活動を報告する機会を得、スライドを用いて最近の活動状況を紹介することができました。

2022年度 収支決算報告

会計：山崎 百合子

〔期間〕2021年9月1日～2022年8月31日

前年同様コロナ禍のため同窓祭でのイベント等が中止となる一方で、聖林寺への寄進事業といった新たな活動にも取り組んだ一年でした。決算数値は収入519,717円、支出239,143円で収支差額280,574円となり、その結果次期繰越金は1,401,977円となりました。内訳は収支計算書のとおりです。以下のとおり収入・支出の別にそれぞれの内容をご報告いたします。

1. 収入

- (1) 会費
今年度は書面総会のため会費は徴収しませんでした。一名の方よりお振込みをいただきました。(会費は会則に基づき「総会時等必要に応じて徴収する」とされています。)
- (2) 寄付金
107名の方から511,822円のご寄付をいただきました。1967年から2021年卒業の方まで幅広い世代の皆様にご協力いただきました。この場をお借りいたしまして、深く感謝申し上げます。
- (3) 贅デジタル版DVD売上金
機関誌“贅”デジタル版DVDの希望者(7名、39冊分)負担金を計上しています。なおDVD作成・送付費用は啓発活動費に計上しています。(“贅”は昨年6月に今後の保存を考慮してデジタル保管しており、希望する会員へDVDによるデータ提供を行っています。申込み方法等はHPに掲載しています。)

2. 支出

- (1) 通信費
会員や関係先との連絡通信費を計上しています。(総会関係費用は総会活動費に計上。)
前年実績より3,956円増となりました。
- (2) 資料費
各種資料作成費やプリンターのインク代等を計上しています。(総会関係費用は総会活動費に計上。)
前年実績より7,895円減となりました。
- (3) 事務備品費
紙類・ノート等の事務用品の支出で、今年度は支出がありませんでした。
- (4) ホームページ維持費
贅会HPの年間使用料で、前年と同額の支出です。
- (5) 現役活動支援金
今年度は支出しておりません。事業報告3(3)を参照願います。

- (6) 交流費
例年古美研主催コンパやアイビーグループ代表者会議に出席した役員の参加費補助額(会費の半額)を計上していますが、今年度はこうした機会がなく支出がありませんでした。計上額2,450円は古美研役員との意見交換会の際の喫茶代です。
- (7) 渉外費
同窓祭で計画していた講演会が中止となったため、講師の方へお詫びの品をお送りした費用4,084円を計上しています。(事業報告4(2)を参照願います。)
- (8) 啓発活動費
計上額118,480円の内訳は次のとおりです。
・107,720円：聖林寺への寄進額100,000円及びこれに付随する御供物、目録筆耕代等の費用(事業報告4(1)を参照願います。)
・2,670円：“磬”デジタル版会員用DVD作成・送付関係費用
・8,090円：4月16日開催「古美術を語ろう会」下見費用(迎賓館・聖徳絵画館入館料)
- (9) 総会活動費
計上額の42,590円は、すべて2021年9月開催の書面総会に関わる通信費・資料費等です。今回の総会費用は2023年度に計上されます。
- (10) 会議費
計上額の17,025円は、すべて役員会開催のための校友会会議室費用で、12月5日・4月5日・6月12日に開催した3回分、及び9月18日(2023年度)開催の予約金です。

収支計算書

2021年9月1日～2022年8月31日

会計：山崎百合子



単位：円

	決算額 ①	参 考			
		前年実績額 ②	対前年比(%) ①÷②	対前年増減額 ①-②	
前期繰越金	1,121,403	978,017	114.7	143,386	
収 入	受 取 利 子	12	11	109.1	1
	(1) 会 費	1,000	1,000	100.0	0
	(2) 寄 付 金	511,822	429,206	119.2	82,616
	(3) 磬デジタル版DVD売上金	6,883	0	—	6,883
合 計	519,717	430,217	120.8	89,500	
支 出	(1) 通 信 費	30,376	26,420	115.0	3,956
	(2) 資 料 費	12,338	20,233	61.0	▲ 7,895
	(3) 事 務 備 品 費	0	1,870	0.0	▲ 1,870
	(4) ホームページ維持費	11,800	11,800	100.0	0
	(5) 現役活動支援金	0	0	—	0
	(6) 交 流 費	2,450	0	—	2,450
	(7) 渉 外 費	4,084	0	—	4,084
	(8) 啓発活動費(通信費除く)	118,480	167,228	70.8	▲ 48,748
	(9) 総会活動費	42,590	45,327	94.0	▲ 2,737
	(10) 会 議 費	17,025	13,953	122.0	3,072
合 計	239,143	286,831	83.4	▲ 47,688	
収支差額(収入-支出)	280,574	143,386	195.7	137,188	
次期繰越金	1,401,977	1,121,403	125.0	280,574	

監査報告

2021年9月1日から2022年8月31日までの収支計算書について帳票類と照合の結果、会計事務処理は全て適正に処理されていることを証します。

2022年9月18日

監査役：小倉敏



役員改選

議長：長谷川 和芳

現役員の任期は今回の総会時までとなっています。このため、新役員の立候補者を受付けたところ(総会HPで受け、9月10日締切り)、次の方々が立候補されました。

つきましては、会則に定める各役員の定数と立候補者が同数のため、一括審議とさせていただきます。

※任期2年、氏名のカッコ内は旧姓、(新)は新任

会 長	1 名	1978年卒	亀 村 通 (新)
副会長 (総務担当)	1 名	1978年卒	紺 野 文 弘 (新)
副会長 (広報担当)	1 名	1978年卒	渡 辺 直 子 (新)
会 計	1 名	1978年短卒	大溝(江藤)阿佐子 (新)
運営役員	5 名	1979年卒	小島(中村)まゆみ (新)
		1980年卒	大滝(川原)恵理子 (新)
		1981年卒	渡 邊 哲 夫 (新)
		1982年卒	伊 藤 雅 明 (新)
		1989年卒	河 合 敦 (新)
監査役	1 名	1977年卒	山崎(井上)百合子 (新)

《参考》 現役員体制

会 長	1974年卒	長谷川 和 芳
副会長(総務)	1974年卒	飯 田 貞 年
副会長(広報)	1978年卒	亀 村 通
会 計	1977年卒	山崎(井上)百合子
運営役員	1975年卒	本 間 裕 司
	1977年卒	大向(佐野)久二江
	1979年卒	馬 場 郁 夫
	1980年卒	葛 城 明 彦
	1980年卒	中村(青木)桂子
監査役	1970年卒	小 倉 敏 一